

# CCH・アート・プロジェクト

## 自己表現活動を通じた、青少年の健全な育成を目指して

本事業は、様々な自己表現活動を通して、子どもたちが想像性や感性、創造力、表現力などの資質能力を発揮できる場を提供することを目的として2015年に開始されました。毎週金曜日をアートクラブの日として、こどもたちとともに美術や音楽に関わる様々な表現活動を行っています。また、外部講師を招いたり、演劇や映像の活動を行う団体を招いて鑑賞活動のワークショップなども定期的の実施しています。

事業開始から2年半が経った2017年10月に、事業期間の区切りとして、この活動を通して子どもたちの意識や行動がどのように変化したかを知るためのインタビュー調査を行いました。事前調査から数えて3回目となるこの調査を通して子どもたちの変化が見えてきました。最初の調査では、学校のテストや行事で「絵を描くこと」や「歌をうたうこと」などの限られた活動を「アートの活動」として認識していたのに対して、今回の調査では「～（作品や踊り、パフォーマンスなど）を見たり、見せたりすること」「何か新しいものをつくること」「リサイクルの材料をつかって～をつくること」「音を聴いたり、手を叩いたりして、音楽をつくること」「～（友だちや兄妹など）と一緒に～をつくること」「物語を話すこと」など多様な活動を「アートの活動」として広く認識するようになっていたことが分かりました。そして、それらの経験やアイデアを、学校や家などの自分たちの日常生活の中で友だちや家族へ共有し、一緒に楽しんだりしている姿も見えてきました。

調査を通してこのような子どもたちの能動的な表現活動を確認できたことから、これからはそれぞれが興味や表現を自由に展開していくことのできる活動の形を提供することで、子どもたちがさらに主体的に取り組むことのできる活動を目標としていきます。

